



friendship force  
TOKYO

ニュースレター第132号

フレンドシップフォース 東京

2022 年 7 月

FF 東京クラブ創立 40 周年記念に寄せて

Friendship Force に魅せられての 42 年

FFI 諮問委員 余村とこ

“広く世界中の人と Friendship Force 交換により友情が築かれ世界平和に貢献できる”はずなのにその FF 精神を覆すようなロシアのウクライナへの軍事侵攻のニュース。私には両国ともに FF 交換しての友人がいることで悲しい現実の日々を過ごしている。ここで私が FF 活動を楽しんだ日々をふり返ってみる。この理想を掲げたプログラムが日本上陸したのは 1978 年。翌年に当時米大統領だったカーター夫妻が来日、FF Japan 発足。翌 81 年、FF の創始者 Smith 卿とカーター夫妻を迎えての FFJ のお披露目はホテルオークラでの朝食会。その半年後、私は FFJ が全国募集したアンバサダー 16 名の ED として Charleston に渡航、当時の州知事の Rockefeller 4 世に知事公邸に招待され、初めての民間大使を体験する。1982 年 FF 東京結成、クラブ作りを楽しむ。83 年からは毎年開催される FFI 国際会議に参加。1989 年夫の赴任先 Louisville に駐在、翌年に FF Greater Louisville

クラブを立ち上げた。その後 FFI 世界大会と名を変えてからも毎年参加をする。しかし 2001 年フルタイムの仕事が始まり 4 年間は FF 活動を小休止、再活動は 2005 年の Sao Paulo 大会から。07 年 FFI 30 周年記念世界大会が Carter Center で華やかに開催、FF 東京が表彰される。2008~9 年は FF 東京の会長を拝任。さらには 2010~13 年 FFI ボードメンバーとして FFI の経営に参加。2013 年 3 月の東日本大震災はアトランタのボード会議中に TV ニュースで知り即、義援金用の T シャツを 800 枚オーダー、世界の FF クラブに協力を求め、売上金を FF 仙台と FF 郡山へ送金する。2016 年次世代に向けての交流“孫・子と一緒にエコ交換”は米・独・日の 3 カ国で始まり若者とともに自然環境を学べる大変刺激のある交換だった。ここ 2 年余の FF 活動はコロナパンデミックにより休眠状態だが世界中の会員が FF Family であることの誇りと喜びをもって再開できる日を心から楽しみにしている。

かけはし

今年 1 月、見慣れた住所ですが見覚えのない筆跡の航空便が、アメリカから届きました。30 年程前の秋、FF アンバサダーとして我が家に滞在された方からの代筆サイン付きの新年ご挨拶カードでした。今までにいただいたお手紙は何通になるでしょうか。▼参加したこれまでの FF 交流をふり返る時、いつもまず彼女と過ごした日々が心に浮かびます。▼フリーデーには近所をお一人で散歩しベランダでゆったりと読書と、まるでご自宅でのように、そしてお茶を飲みながらの会話を楽しみ、穏やかにすごされていたのです。▼ところがその日の夕方驚く変化が！▼TV ニュースを見ながら彼女は大声で一喜一憂、Ah! Oh, my!! お国で上下両院議員の中間選挙がちょうどあり、選挙の途中経過を報じていたのです。ニュースが終わり一息入れた彼女は私を見て照れたお顔をニコニコ交った瞬間でした。(S・M)

# 創立 40 周年記念祝賀パーティ



7 月 11 日、東京クラブ創立 40 周年記念祝賀パーティが第一ホテル東京にて開催。出席者は 48 名。佐藤会長の挨拶で始まり、来賓の FFJ の金元勅子様、メンターの石井嗣代様からのお祝辞。乾杯の音頭は島田信子 FR が、そして記念誌「40 年のあゆみ」編集委員 6 名の紹介や、バザーの催しで会は盛り上がり、最後は田中裕海前会長の閉会の辞でパーティの幕を閉じました。バザーの売上金はウクライナへの寄付金といたします。



金元様



石井様



記念誌「40 年のあゆみ」編集委員

## 今、思うこと!!

安達京子

1982 年に芽生えた FF 東京は、さまざまな環境の中で成長しながら 40 の年輪を持つ木になりました。そして年輪ごとに各会員の思い出が、色鮮やかに刻み込まれています。18 番目の年輪は、長年「海外の人々や文化に直接触れ、世界をもっと知りたい」と願っていた私の琴線に触れた場所です。入会間もない私の最初の受入は、何と 80 歳のアメリカ人男性でした。体調の心配をよそに、張り切って半ズボンと T シャツ姿で朝のウォーキング。子供達とおしゃべりし、英語の歌をうたい楽しませて下さり、親切で高齢ながらも好奇心旺盛な彼に刺激を受けました。最初の渡航は 2008 年、ドイツのファーレルでした。家庭菜園が大好きで温厚なご夫妻とはそれ以来、毎年クリスマスカードを交換しています。年輪の数だけ日本文化を広め、異文化に触れながら友情が生まれたはずです。FF 東京がますます、大きな木へと成長することを願わずにはられません。

## たくさんの夢をありがとう

竹内圭子

東京クラブ創立 40 周年おめでとう。1980 年最初のモンタナより渡航国 98、受入国 105、素晴らしい成果である。グローバル化が進んでいない時代、ホームステイ交流というシステムは斬新だったと聞く。7 月 11 日記念祝賀パーティに参加した。コロナ禍自粛の中 3 年ぶりの集いである。わあ、懐かしい顔、顔、顔。「元気だった？」あちらこちらで楽しい話の花が咲いている。まるで同窓会の様だ。よしよし。次は 50 周年だ。私は FF 歴 20 年、渡航回数 16 回、その内 12 回はアメリカ。アメリカ文化の多大な影響を受けた世代である私にはこの地でのホームステイがどんなに楽しかったことか。ルイジアナのアリス、オハイオのジェシカ等、彼女達の笑顔が忘れられない。そして交流からたくさんの夢と思い出をもらった。FF は本当にいいなあ。今、コロナ、戦争と困難な時代に、世界の FF がこれから先もずっとずっと長く活動できるよう期待する。



# 地区懇親会



## 【神奈川地区】

**日吉プチ懇親会 (3/19)**

**田中明子**

入会して初めて FF 活動に参加させていただきました。日吉でのプチ懇親会は、ギャラリー鑑賞、日吉散策、見晴らしのいい高台でのピクニック、最後は美味しいお茶をいただきながらホームステイの素敵な思い出話など楽しませていただきました。参加して思ったのは、みなさん、とってもお元気で若々しくて好奇心旺盛！！長年の FF 活動を通して、素敵な思い出をたくさん作って絆を深められてきたのを感じました。初参加の私にも優しく接してくださって、みなさんの在り方もお話も本当に刺激的でとっても楽しくて最高でした。今後の活動もとても楽しみにしています。



## 【埼玉地区】

**大宮公園のお花見会 (4/1)**

**柏原幸子**

大宮駅に集合した私たち 7 人は、タクシーで氷川神社に行きお参りをした後、歩いて大宮公園に向かいました。前日の雨が嘘のように晴れ渡り、満開の桜が目の前に広がっていました。園内でお弁当を広げている私達に、時折優しい風が桜の花びらをハラハラと運んできました。第二公園も丁度お花の見頃で手の届く所に桜があって、また近くには川や池がありとても素敵でした。最後に大宮の駅ビルで楽しく茶話会をして解散しました。



## 【東京地区】

**江戸の面影をたずねて (4/19)**

**宮本晴子**

江戸庶民文化の中心地・人形町は名前こそ聞き慣れていましたが、訪れたことがありませんでした。かつてこの界隈は芝居や人形浄瑠璃が盛んに演じられ、人形職人が多く住んでいたことが地名の由来とか。度重なる火災や戦災ですっかり変わってしまいましたが、それでもかろうじて面影をとどめている幾つかの神社や、今に味が引き継がれている「今半」「魚久」などの老舗の本店、古地図を参照にした中央区のボランティアガイドの説明でひとときタイムスリップを楽しみました。最後はゆったりとしたレストランで懐かしい皆さんとお話の花も。人形焼きやべったら漬などお土産を買って帰った人も多かったようです。



## 【千葉地区】

**我孫子八景歩き (5/17)**

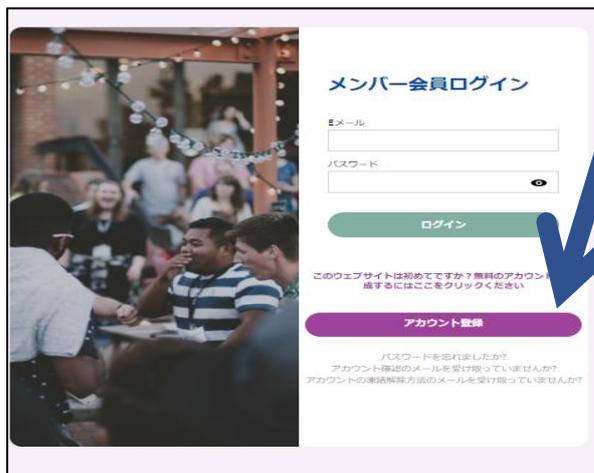
**神吉節子**

東京のベッドタウン千葉県北西部の我孫子は、戦前の別の顔を持つ。5月17日我孫子駅に集合した私達は、原さんの名ガイドで歩き始めた。手賀沼畔に広がる緑地に嘉納治五郎が別荘を構え、その縁で白樺派の文人が次々居を移し、ジャーナリスト・日本歯科医療の始祖等も足跡を残した。途中白樺文学館に寄り、柳宗悦等の民藝運動や志賀直哉等の資料に触れ往時を偲んだ。昔懐かしい手焼き煎餅店で買い物の後、仙石さん宅に場を移し、お弁当を食べ、お嬢さん手作りのデザートを頂いた。それからコロナ禍で叶わなかった対面での語らいが大いに弾み、夕刻まで愉しく過ごし別れを惜しみながら散会した。



## 【もっと知りたい myFF のこと シリーズ 2】

世界の FF への架け橋「myFF」に登録してみましょう！



「アカウント登録」をクリック

すべて日本語で表示されていますので、簡単に登録ができます。まずは、[Friendship Force - メンバーポータルサイト](#) ←こちらをクリックしてください。myFF 登録画面の「アカウント登録」をクリックし、日本語の指示に従い、情報を入力するだけです。

### 第 32 回 FF 日本大会

発足 40 周年を迎える 新潟クラブ主催

「みんな集まれ新潟へ  
久しぶりの渡航だ!!」

期日：2022 年 10 月 26 日（水）  
～28（金）（2 泊 3 日）

新潟クラブのモットー：  
「とにかく 楽しくやろう」

### おしらせアラカルト

- ◇ 渡航中止---オレゴン・コロラド（USA）
- ◇ 渡航中止---ルーヴェン（Belgium）
- ◇ 受入中止---ルーヴェン（Belgium）
- ◇ 受入未定---ウラン・ウデ/10 月（Russia）

～～アンケート集計結果について～～

ホームステイ交流のアンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。別紙にて報告いたします。ご参照ください。

#### 40 周年記念誌『40 年のあゆみ』

訂正のお知らせ

P.25 の「FF ニュース」に誤りがございましたので、下記の通り訂正します。

(誤) デイトン&ウェスタンミルウォーキー 語学研修

(正) デイトン&ウェスタンミシガン 語学研修

#### <編集後記>

2021 年に FFI から発表された新ロゴを使ってのニューズレター第 132 号を配信します。今年は東京クラブにとっての 40 周年記念の年で FF 活動がさらに飛躍することを願いつつ、新ロゴに切り替えました。なお、これまで臨時号扱いで制作しておりましたが、今後は定期的に発行しているものは正式号の扱いとします。